

## 第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

### 1. 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 令和6年9月10日  
作成担当部署 南小国町役場まちづくり課

### 2. 第三セクター等の概要

法人名 株式会社SMO南小国  
代表者名 代表取締役 高橋 周二  
所在地 熊本県阿蘇郡南小国町赤馬場1789-1  
設立年月日 1992年3月23日  
資本金 85,400千円【南小国町の出資額(出資割合)85,000千円(99.5%)】  
業務内容 農林水産物の生産、加工及び販売ならびに食糧品、日用品の販売  
一般旅行業、国内旅行業及び旅行業代理店業  
旅行に関するコンサルティング業務  
旅行に関する情報提供サービス業務

### 3. 経営状況、財政的なリスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

○法人の経営状況や財政的なリスクの現状

当社は、南小国町の地場産業の振興及び観光交流の拠点として株式会社きよらカアサとして1992年3月に設立し、開業以来30年以上にわたって事業を営んできました。

2018年7月に観光庁の観光地域づくり法人候補法人(日本版DMO)登録とあわせて株式会社SMO南小国に社名を変更し、2021年11月には登録DMOとして観光と物産を軸に活動を続けてきていました。主たる事業として物産館の運営及びふるさと納税事業の受託、観光事業に取り組んできており、2020年3月期決算では過去最大となる14,422千円の営業利益と好業績を残しておりました。しかし、その後、業容の拡大を見込んで人員を拡大した中で、採算性が低い事業の増加等の要因もあり、経費の増大

に見合った収益の確保ができない状態が継続し、2021年3月期決算から2024年3月期決算においては4期連続の欠損計上となりました。特に、直近2024年度3月期決算においては、ふるさと納税の制度変更による収益の減少の影響等により43,182千円の欠損計上となり、債務超過に陥りました。

#### ○地方公共団体としての財政支援、監査、評価の実施状況

町としては、株式会社SMO南小国に一時的な運転資金不足に対応するため、議会への説明を行った上で同社の社債70,000千円を引き受け、財務の安全性は改善されましたが、債権者として定期的な財務状況の確認を行っております。

また、経営状況及び経営健全化に向けた取り組みを評価するため、定期的に同社と町との間で連絡会議を実施して、部門別の収支の推移及び経営改善に向けた取組み等を共有しながら、評価を進めているところです。

### **4. 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討**

「第三セクター等の経営健全化等に関する指針」の別紙2「抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討のフローチャート」に基づき検討した結果、

「経営体制の変更や大幅な経営改革を行うことを前提に、第三セクター等で引き続き実施」に該当。費用対効果については、当該法人の事業が公共性、公益性の高い事業であり、行政目的が果たされていることから、確保されていると判断できます。しかしながら、公共性、公益性の高い事業を行っているとしても、当該法人は当町から独立した事業主体として、自らの判断と責任に基づいて事業を遂行することが原則であり、経営の効率化、合理化の余地について検討し、速やかに取り組むことが求められます。

現在、株式会社SMO南小国は、経営改善への施策を実施している状況であり、町としては同社との連絡会及び取締役会を通じて進捗状況の確認を行っていきます。

### **5. 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応**

○法人自らによる経営健全化のための具体的な対策

- ・訪れる魅力のある施設づくり

物産館の売場、品ぞろえのコンセプトを刷新し、エシカルライフスタイル

を提案するとともに、町内の観光事業者と連携した誘客施策の実施等を追求していきます。

- 組織改革を実施し、顧客満足と従業員満足をもたらすため、組織を再編し、最適人員での効率的な業務運営を行う等を推進していきます。
- 不採算事業の見直し、業務改善  
今後も公益性と収益性のバランスを町と協議した上で事業の見直しを行うとともに、経理業務改善による販管費の削減等を追求していきます。部門別の収支の進捗を管理することにより不採算事業を明らかにしていきます。また、町との定期的な連絡会において部門別収支の情報を共有して業務改善を図っていきます。
- 過剰な施設等の整理  
人員削減及び事業の廃止に伴い過剰となった施設の整理を図っていきます。

#### ○地方公共団体による財政的なリスクの対処のための具体的な対応

株式会社 SMO 南小国の取締役会及び同社との定期的な連絡会を通じて同社に対し、引き続き経営の効率化・合理化、経費削減、地域活性化に資する収益性の高い取り組みの実施を求めています。

ふるさと納税に関しては、会社全体の収益に影響を与える可能性があるため、時勢に応じた柔軟な対応を行っていきます。また、現在、町からの経費補填により実施している移動販売に関しては事業の枠組みの見直しを行います。その他の収益性が困難な事業に関しては早期の収支改善または事業の廃止を求めます。

## 6. 法人の財務状況

### 貸借対照表

項目	金額（千円）				
	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
資産総額	135,888	86,397	95,362	86,818	90,729
（うち流動資産）	(124,944)	(63,335)	(72,696)	(60,754)	(65,061)
（うち固定資産）	(10,944)	(21,279)	(21,279)	(25,074)	(25,074)
（うち繰延資産）	-	(1,782)	(1,386)	(990)	(594)
負債総額	64,197	31,994	46,417	46,479	93,573
純資産額	71,691	54,402	48,945	40,339	-2,843

### 損益計算書

項目	金額（千円）				
	2020年3月	2021年3月	2022年3月	2023年3月	2024年3月
売上高	129,252	148,550	180,416	177,499	221,587
売上総利益	101,561	115,194	143,317	140,309	180,516
販管費・一般管理費	87,138	138,761	176,873	171,453	226,455
（うち人件費）	(36,610)	(82,407)	(101,763)	(104,794)	(113,426)
営業利益	14,422	-23,567	-33,556	-31,144	-45,939
経常利益	50,681	-17,106	-5,275	-8,400	-43,000
当期純利益	36,659	-17,288	-5,457	-8,605	-43,182

参考：今後の計画

項目	金額（千円）		
	2025年3月	2026年3月	2027年3月
売上高	281,422	281,422	281,422
売上総利益	240,940	240,940	240,940
販管費・一般管理費	228,305	228,305	228,305
営業利益	12,635	12,635	12,635
経常利益	12,635	12,635	12,635
当期純利益	8,845	8,845	8,845